

平成 23 年度事業報告書

(平成 23 年 4 月 1 日から 平成 24 年 3 月 31 日まで)

特定非営利活動法人しょうがい生活支援の会すみか

1. 事業実施の方針

「障がいの有無を問わず誰もが自己実現できる社会づくり」「24 時間 365 日このまちで安心して暮らせるシステムづくり」という本法人のミッションに基づき、引き続き事業を展開した。今年度は、障がいを持つ当事者の繋がり強化と市民への啓発、障がい児の放課後支援の強化を図った。

2. 事業の実施に関する事項

今年度の最も大きな変化としては、これまでになかった委託事業への取り組みを行ったことが挙げられる。鳥栖市においては障がいを持つ当事者の繋がり強化と市民への啓発のための 3 つの事業、みやき町においては中原特別支援学校在籍児童を対象とした学童保育を実施したことにより、関わる人数が飛躍的に増加し充実した事業を展開することができた。一方で、中核を担う事務局の業務量も増加し、運営体制の強化が今後の課題となった。

また、事務所の拠点機能強化として、くるり及びよかよかの実施にかかる保管用倉庫を設置した（佐賀県共同募金会助成）。事業実施のための物品管理が改善されると共に、事務所内のスペースが確保され、ほとどの部屋の専有化をはじめとする来客対応環境が改善された。

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業実施の方針を具現化するため、以下の事業を行った。

A. よかよか

障がい児・者の休日における活動を支援する次の事業を行った。

ア. 地域生活力向上プログラム

決算書①、支出額 1,868 千円

(佐賀県地域福祉振興基金 1,460 千円助成)

どんな障がいがあっても地域で生きていく力を育てる。

「レスパイト（外出活動）」「チャージ（動作法）」「アップ（保護者グルー

プ)」の3つを活動の柱とし、自らの力で地域社会と繋がり生活を切り開く力をつける土台づくりを行った。

実施日：レスパイト…7日（1泊の宿泊活動を含む）

チャージ…11日、アップ…12日

実施場所：「レスパイト」…ストロベリーフィールズ、JR博多シティ、
ベイサイドプレイス博多、キャナルシティ博多、
柳川さげもん祭り、鹿児島・指宿（宿泊活動）

「チャージ」「アップ」…若葉コミュニティセンター、
基里公民館、こすもす館

スタッフ数：（延べ）講師 50 名、ボランティア 144 名、事務局 36 名

対象者：心身に様々な障がいを持つ人及び家族。（延べ）157 組

イ. 障がい児の長期休暇支援事業

決算書②、支出額 401 千円

（鳥栖市市民活動支援補助事業 300 千円助成）

夏休み・冬休みの障がい児等に活動の場を提供し、療育的視点を持ったレクリエーションを行うことで心身の発達を促すと共に、長期の休みで介護負担が増加する家族のレスパイト・ケアを行うことを目的とした。

実施日：夏休み期間中 8 日、冬休み期間中 2 日

実施場所：鳥栖市中央公民館、鳥栖市社会福祉会館、鳥栖市民プール等

スタッフ数：（延べ）講師 18 名、ボランティア 43 名、事務局 16 名

対象者：鳥栖市内在住の 18 歳以下の障がい児（手帳の有無は問わない）
延べ 41 名

ウ. 中原特別支援学校放課後児童健全育成事業

決算書③、支出額 3,939 千円

（中原特別支援学校放課後児童健全育成事業委託金 5,224 千円）

障がいを持つ児童がリラックスして楽しめる環境を提供し、就学時間終了後及び長期休暇期間中に安全且つ安心して過ごせる場となるよう目指した。

実施日：月～金曜 14:00～18:00、土曜・長期休暇中 9:00～17:00

開所日計 168 日

実施場所：中原特別支援学校多目的室

スタッフ数：指導員述べ 932 名（1日当たり 6 名）

対象者：中原特別支援学校に在籍する児童・生徒
述べ 1,553 名（定員 12 名）

エ. 居場所づくり事業

決算書④、支出額 150 千円

(鳥栖市障害者理解促進事業委託金 385 千円)

障がい当事者がそれぞれの立場や団体の利害関係を超えて集える場所をつくり、楽しい時間を過ごしたり、悩みを共有したり、情報交換できる場所とすることで、心の安定とエンパワーメントを図った。

実施日：講演会… 7 月

障がい当事者の会… 7 回（8 月から毎月 1 回）

実施場所：講演会・鳥栖市中央公民館

ぴあ CAFE（障がい当事者の会）・鳥栖市役所会議室

スタッフ数：講演会・講師 2 名、ボランティア 1 名、事務局 4 名

ぴあ CAFE・（通年）講師 1 名、事務局 1 名

対象者：講演会…80 名、障がい当事者の会…（通年）12 名

B. こころとからだの健康教室ほっと

決算書⑤、支出額 1,930 千円

腰痛・肩こり・不眠などでお困りの方に動作法を行い、リラックスしていただいた。今年度は宅配便（出張）に力を入れた。

実施日：月～金曜 10:00～19:00 及び 土日（随時）

実施場所：事務所、など

スタッフ数：（通年）トレーナー 1 名、事務局 1 名

対象者：（延べ）一般市民 483 名

C. リサイクルショップくるり

決算書⑥、支出額 482 千円

寄せられた不用品や作業所等で作られた野菜等の商品販売等を通して、障がいを持つ人の社会参加の促進を目指した。

実施日：月～金曜 10:00～19:00 及び 地域イベントなど

※以下、地域イベントのみ

① 要るく祭

日時：平成 23 年 6 月 26 日

場所：サンメッセ鳥栖前芝生広場

- ②とす市民活動センター移転1周年記念チャリティーバザール
日時：平成23年7月18日
場所：スーパーセンターイズミ
- ③旭地区盆踊り大会
日時：平成23年8月6日
場所：旭グラウンド
- ④南鳥栖自動車学校感謝祭
日時：平成23年10月23日
場所：南鳥栖自動車学校
- ⑤鳥栖市民文化祭
日時：平成23年11月3日、5日、6日
場所：鳥栖市民文化会館前
- ⑥ふれあい広場
日時：平成23年11月12日
場所：鳥栖市社会福祉会館
- ⑦青葉園感謝祭
日時：平成23年11月23日
場所：八ツ並公園（鳥栖市弥生が丘）
- ⑧要るく祭
日時：平成23年11月27日
場所：スーパーセンターイズミ
- ⑨旭地区文化祭
日時：平成24年2月4日、5日
場所：旭公民館
- ⑩若葉地区文化祭
日時：平成24年3月3日
場所：若葉コミュニティセンター

D. コミュニティサロン

決算書⑦、支出額114千円

障がいの有無にかかわらず様々な人が集える居場所づくりを行った。その中で見いだされた問題・課題に関しては、ピア・サポートを中心とした対応を行った。

実施日：毎週水曜日 10:00～15:00

実施場所：事務所

スタッフ数：(通年) ボランティア 2 名、事務局 2 名

対象者：(延べ) 一般市民 730 名

E. 福祉啓発事業

障がい福祉の分野を中心に、誰もが自己実現できる社会づくりへ向けた啓発・研修事業を次の通り行った。

ア. 障がいに関する啓発講座

決算書⑧、支出額 0 千円

(鳥栖市障害者理解促進事業委託金 83 千円)

障がいを持つ人への理解を促進するため、出前講座での啓発活動を行った。今年度は、特に未来の鳥栖市を担う子ども達と、全市民に対して行政サービスを行う鳥栖市の職員を対象とした。

① 小・中学校巡回講座「障がいって何だろう!？」

日時：平成 23 年 6 月 23 日

場所：基里小学校

対象者：6 年生 56 名

② 小・中学校巡回講座「障がいって何だろう!？」

日時：平成 23 年 7 月 6 日

場所：田代小学校

対象者：4 年生

③ 小・中学校巡回講座「障がいって何だろう!？」

日時：平成 23 年 7 月 1 日

場所：若葉小学校

対象者：2・3 年生

④ 鳥栖市職員研修

「障がいがある人の理解～まちづくりの主役は市民です～」

日時：平成 24 年 2 月 3 日

場所：鳥栖市役所 3 階大会議室

⑤ 鳥栖・基山地区小中学校 PTA 研究大会「障がいって何だろう!？」

日時：平成 24 年 2 月 11 日

場所：鳥栖市中央公民館ホール

イ. 研修・交流事業

決算書⑨、支出額 87 千円

テーマや対象者に合わせた研修会や出張講演・交流事業を行い、障がい福祉に関する理解を深めた。

【出張（講師）】

< 芹田 >

① 福岡県移動介護従業者養成研修

「重度肢体不自由者（児）における障害の理解」

日時：平成 23 年 4 月 29 日

場所：サザンクス筑後

② 『はじめてのボランティア講座』～できることからはじめよう～

日時：平成 23 年 6 月 18 日

場所：スーパーセンターイズミ鳥栖店 1 階イベント広場

③ 障がいを持つ人の支援とボランティアについて

日時：平成 23 年 6 月 27 日

場所：西九州大学社会福祉学科特別支援教育コース

④ とす市民活動センター移転 1 周年記念事業『いざという時の市民力』

日時：平成 23 年 7 月 18 日

場所：スーパーセンターイズミ

⑤ 肢体不自由者の心理・生理・病理「障がいて何だろう!？」

日時：平成 23 年 11 月 29 日

場所：筑紫女学園大学

⑥ 第 37 回心理リハビリテーションの会全国大会、トレーニーの会

「一人のトレーニーとして考える「動作法って何だろう!？」」

日時：平成 23 年 12 月 11 日

場所：ホテル大阪ベイタワー

⑦ 佐賀県東部地区グリーンコープ総会

日時：平成 24 年 2 月 28 日

場所：本町会館（鳥栖市）

< 西任 >

① 西九州大学学園祭「花田先生、田中先生ゼミ合同動作法体験会」

日時：平成 23 年 10 月 29 日

場所：西九州大学

③ 動作法スーパーバイザー

日時：(通年) 15 回

場所：ひかり園

【視察研修】

① 施設見学

日時：平成 23 年 10 月 15 日

場所：ケア・ライフ・コーポレーション

② 社会的雇用制度視察

日時：平成 23 年 12 月 9 日

場所：大阪府箕面市役所、豊能障害者労働センター

F. 障害者理解基礎調査

決算書⑩、支出額 317 千円

(鳥栖市障害者理解促進事業委託金 1,019 千円)

鳥栖市民の障害についての理解・関心度についてアンケート形式で調査を行った。調査結果については集計、分析を行い、今後の理解促進事業の方向性を探る検討資料とするとともに、調査実施により市民に障害者福祉について改めて考えてもらう動機づけとすることができた。

実施日：平成 23 年 7 月～平成 24 年 3 月

実施場所：鳥栖市内

スタッフ数：5 名

対象者：一般市民 2,000 名（無作為抽出）

G. 市民協働事業

決算書⑪、支出額 0 千円

当法人のミッション達成にも通じる活動を行う市民活動団体と協働しての事業を行った。

ア. 幸せの黄色いレシートキャンペーン

(イオングループの社会貢献企画に 2 店舗参加)

イ. 鳥栖・三養基地域障害者自立支援協議会

[全体会、長期休暇支援協議会] (構成団体として)

ウ. 鳥栖市障害者理解促進事業 (芹田：委員として)

エ. 鳥栖みらい会議 (芹田：委員として)

オ. ふれあいスクール (芹田：校長として)

カ. 鳥栖市障害者福祉計画策定委員 (芹田：委員として)

キ. ふくこいアジア祭り 2011 (芹田：予選審査員として)

ク. ラ・フォル・ジュルネ (芹田：LFJ ファミリーとして)

ケ. 鳥栖市報・市民リポーター (西任：リポーターとして)

(2)その他の事業

特定非営利にかかる事業を滞りなく実施するため、以下の事業によって収入の確保に努める。

H. 自動販売機設置事業

決算書【その他の事業】

支出額 0 千円

本法人を支援する個人宅や企業内に自動販売機を設置し、特定非営利活動に係る事業を資金的に補填した。また、設置に際しては販売機にその設置趣旨を明記し、啓発広報にも活用を図った。

実施日：通年

実施場所：本法人を支援する企業内

スタッフ数：(通年) 2名